

J-KIDSCREENのご紹介

Nara Medical University

School of Medicine

Department of Community Health and
Epidemiology

奈良県立医科大学地域健康医学教室

小児のQOLを測定するために 留意すべき点

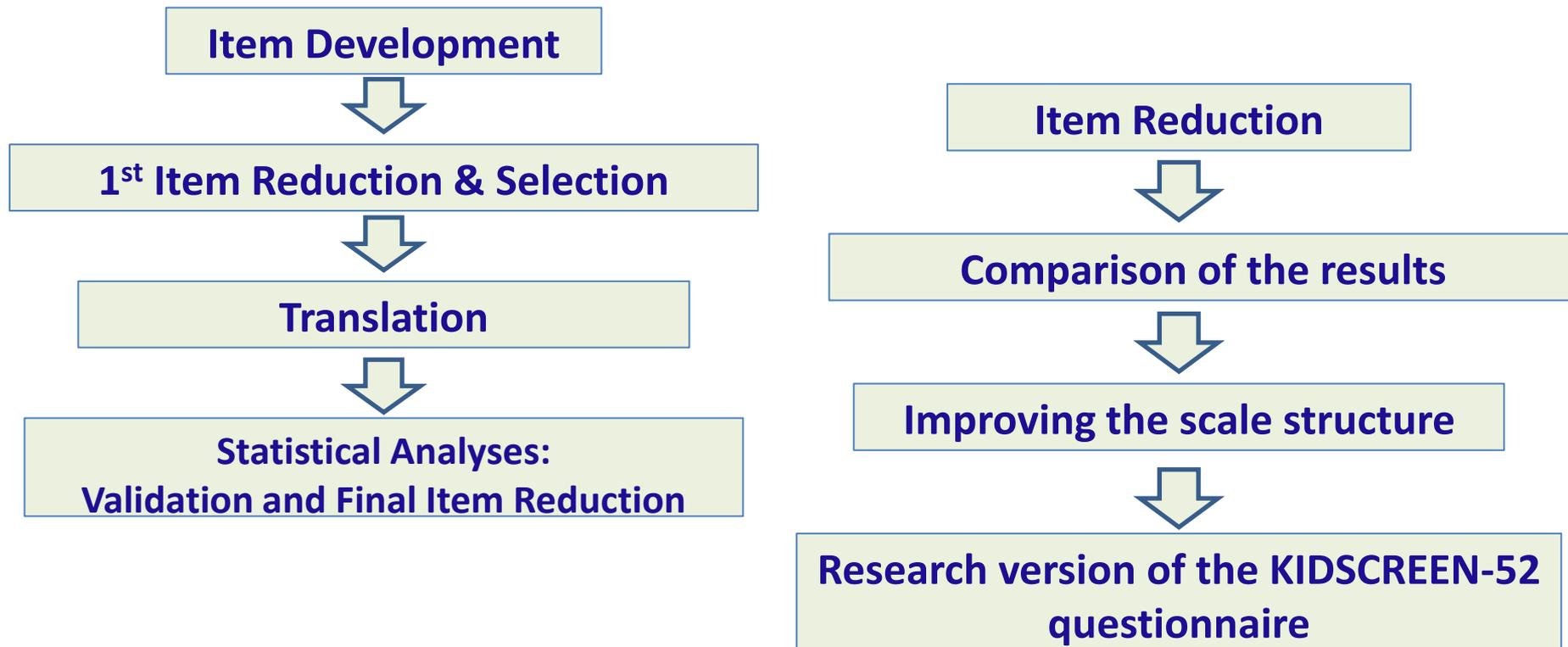
- 病気やその原因、治療について、大人とは異なる考え方をする
- 年齢、知的面や情緒面での発達程度を考慮する必要がある
- 実効性（質問紙の長さや回答のしやすさなど）



KID*screen*

KIDSCREEN開発の経緯

ドイツのDr. Ulrike Ravens-Siebererを中心とした研究プロジェクト (Screening and Promotion for Health-related Quality of Life in Children and Adolescents – A European Public Health Perspective (2001-2004 EC grant))にて、ヨーロッパ13カ国で共同開発されたこどものためのQOL評価尺度です



KIDSCREENの特徴

1. 国際的評価尺度(cross-cultural measurement): 小児のHRQOLを評価するために多国間の専門家により共同開発された初めての調査票であり、多くの国で妥当性が評価されている
2. 多次元評価尺度(multi-dimensional): 小児のHRQOL評価に必要な多次元の項目が含まれている
3. 6種類のバージョン: こども版(self-reported)と平行した内容の親版(parent/proxy-reported)の質問紙があり、それぞれ52問版と短縮版(27問, 10問)の質問紙がある
4. 包括的尺度(generic-measurement): 対象者の疾患や障害の有無に関わらず使用可能な包括的尺度であり、姉妹研究により疾患特異的尺度も開発されている

KIDSCREENの特徴-1

38カ国で翻訳され、 国際比較が可能

The European KIDSCREEN approach to measure quality of life and well-being in children: development, current application, and future advances. Ulrike Ravens-Sieberer, Michael Herdman, Janine Devine, Christiane Otto, Monika Bullinger, Matthias Rose, Fionna Klasen. Qual Life Res; 2013

Table 6 KIDSCREEN available country/language versions

Child/adolescent version			Countries	Proxy version		
10	27	52		10	27	52
✓	✓	✓	Argentina	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Austria	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Australia	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Belgium	–	–	–
✓	✓	✓	Brazil	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Chile	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Colombia	–	–	–
✓	✓	✓	Croatia	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Czech Republic	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Denmark	✓	✓	✓
✓	✓	–	Finland	✓	✓	✓
✓	✓	✓	France	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Germany	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Greece	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Hungary	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Iran	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Ireland	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Italy	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Iceland	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Japan	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Korea	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Kenya (Dholuo)	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Mexico	–	–	–
✓	✓	✓	The Netherlands	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Norway	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Poland	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Portugal	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Romania	✓	✓	–
✓	✓	✓	Russia	–	–	–
✓	✓	✓	Serbia	✓	✓	✓
✓	–	–	Slovenia	–	–	–
✓	✓	✓	Spain	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Sweden	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Switzerland	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Uganda (Luganda)	✓	✓	✓
✓	✓	✓	United Kingdom	✓	✓	✓
✓	✓	✓	USA	✓	✓	✓
✓	✓	✓	Venezuela	✓	✓	✓

KIDSCREENの特徴-2

10領域を評価する多次元評価尺度(multi-dimensional)



各領域の定義や得点の意味するところを示します

領域	項目数	各領域の定義	低得点	高得点
Physical Well-being: 身体的幸福感	5	子ども達の身体活動や体調を聞くとともに、健康でないことにどのくらい不満を感じているか、を調べる	身体的に疲弊、具合が悪い、体調が悪いと感じる、元気が出ない	体調がよい、活気がある、健康で元気である
Psychological Well-being: 心理的幸福感	6	子ども達が、生活や人生にポジティブな感情をもち満足しているか、を調べる	生活に楽しいことがない、満足していない	幸せ、ポジティブ、生活に満足している、明るく陽気
Moods & Emotions: 気分と情緒	7	子ども達が、抑うつ的な気分や情緒を感じ、孤独や悲しみや諦めなどを感じているか、を聞き、そのような感情が稀ならば得点が高い	抑うつ的な気分、楽しくない、悪い気分	気分がよい
Self-Perception: 自己知覚	5	子ども達が、自分自身や自身の外見をどのように感じているか、また、他人に評価されていると感じているか、を調べる	マイナスのボディイメージ、自己否定、自分自身に不満足、低い自尊心、自分の外見に不満足	自信があり自分自身に満足している、プラスのボディイメージ、高い自尊心
Autonomy: 自律性	5	子ども達が自分の交友や余暇の時間を作る機会があるか、余暇の活動やスポーツ等に参加する機会が充分にあると感じているか、を調べる	制限されている、抑圧されている、依存的	自由に決められる、独立している、自律的である

領域	項目数	各領域の定義	低得点	高得点
Parent Relation & Home Life: 親子関係と家庭生活	6	子ども達の親との関係や家庭の雰囲気調べる	孤独で放置されており、適切な扱いを受けていないと感じている	安心して支えられており愛されていると感じている、よく理解され、適切に扱われていると感じている
Financial Resources: 経済状況	3	子ども達の経済状況についての感じ方を調べる	経済状況が自分の生活を制限している、経済的に不利な状況と感じている	経済状況に満足し、楽しんでいる
Social Support & Peers: 社会的な支えと仲間	6	友だちとの関係や、支えられていると感じているか、仲間の一員と感じているか、を調べる	疎外され、仲間を受け入れられず、支えられていない、頼ることができないと感じている	仲間を受け入れられ、支えられ、仲間の一員である、頼ることができると感じている
School Environment: 学校	6	自分の知的能力や学習状況や集中力をどのように感じているか、学校に対する感情等について調べる	学校や先生が嫌い、学校でうまくいかないと感じている	学校にいて楽しい、学校生活を楽しんでいる
Social Acceptance (Bullying): 社会の受け入れ(いじめなど)	3	学校で仲間から拒絶されていると感じている、仲間に対して不安を感じるかを聞き、そのような感情が稀ならば得点は高い	仲間にしめられている、いじめられている、拒絶されていると感じている	いじめられているとは感じない、仲間から尊重され受け入れられている

KIDSCREENの特徴-3

こども版(self-reported)と平行した内容の親版(parent/proxy-reported)の質問紙があり、それぞれオリジナル版(52問)と短縮版(27問, 10問)の質問紙がある



KIDSCREEN-52, -27, -10の各領域の関連を示します

KIDSCREEN-52

KIDSCREEN-27

KIDSCREEN-10

Physical Well-being

**Psychological
Well-being**

Moods & Emotions

Self-Perception

Autonomy

**Parent relation &
Home Life**

Financial Resources

Peers & Social Support

School Environment

Bullying

Physical Well-being

**Psychological
Well-being**

**Autonomy &
Parent relation**

Peers & Social Support

School Environment

**General
HRQOL
Index**

J-KIDSCREENの概要

対象：8歳から18歳の健康な、または慢性疾患や障害を持った子供達とその親（またはその他の介護者等）

質問紙の種類：

質問数	こども自らが記入する質問紙 child / adolescent version	保護者や介護者などが記入する 質問紙 parent / proxy version	必要な時間
52問	J-KIDSCREEN-52 こども版	J-KIDSCREEN-52 親版	15－20分
27問	J-KIDSCREEN-27 こども版	J-KIDSCREEN-27 親版	10－15分
10問	J-KIDSCREEN-10 こども版	J-KIDSCREEN-10 親版	5分

評価法と得点化(Scaling & Scoring)

5段階評価 (5-point Likert response scale)

強度(まったくあてはまらない、少しだけあてはまる、まあまあ、かなりあてはまる、非常にあてはまる)

頻度(まったくない、ほとんどない、ときどき、よくある、いつもある)

振り返り期間 (Recall period): 1週間

得点化 (Scoring): 得点が高いほどQOLが高いと考える

1. 回答を1-5点にコード化
2. 反転項目の再コード化
3. 各項目素点を10領域毎に合計し、ヨーロッパ13カ国の平均値を50点(1SDを10点)としたT値に変換
4. 全回答の25%以上(52問中13問)が無回答ならば無効

日本版KIDSCREEN開発の経緯

こどものQOL調査票KIDSCREEN-Jの開発: 日本公衆衛生学会近畿地方会 2012

1. **順翻訳 Forward Translation** : 2人の日本人研究者が独立して英文和訳
2. **研究グループ会議 Reconciliation** : 上記2種類の順翻訳を統合し、研究グループで問題点を議論した後、順翻訳統合版を作成
3. **逆翻訳 Backward Translation** : 日本語を理解するnative English speakerが順翻訳統合版を和文英訳
4. **中間報告書 Review作成** : 研究グループで、逆翻訳と順翻訳を比較検討することにより、翻訳過程での問題点を抽出し、オリジナル質問票の意図が明確になるよう修正し、順翻訳最終版を作成
5. **First International Harmonization** : U. Ravens-Siebererら者と翻訳過程における問題点を議論し、言語や文化的背景によるバイアスを修正
6. **プレテスト Pre-test** : 8歳から11歳の男女、12歳から18歳の男女に分けて、子供版はそれぞれ3名ずつ、保護者版はそれぞれ2名ずつ、計20名の対象者に研究グループメンバーが、Think Aloud Methodの手法により、質問のすべてについて意図することが理解されているか(comprehensible)、受け入れ可能か(acceptable)、日本語として表現は的確か、などを調べて修正
7. **International Harmonization** : U. Ravens-Siebererら共同研究者と最終調整を行いKIDSCREEN日本語最終版を作成

KIDSCREENを使用した先行研究

Being Bullied: Associated Factors in Children and Adolescents 8 to 18 Years Old in 11 European Countries. *F.Analitis et al. Pediatrics 2009*
11ヶ国16,210人の子供達にKIDSCREEN-52を使用していじめの要因を検討

Health-related quality of life among children with mental health problems: a population-based approach. *M. Dey et al. Health Qual Life Outcomes 2012* Swiss 9-14歳児 (mental health problems=535, physical health problems=327, healthy controls=744)にKIDSCREEN-27を使用してQOLとの関連を検討

Self-reported quality of life of 8-12-year-old children with cerebral palsy: a cross-sectional European study. *HO. Dickinson et al. Lancet 2007* 6カ国8-12歳の脳性まひ児500人 (IQ>70; 363人)について KIDSCREEN-52を用いてQOLを検討